

## 平成 29 年度 穴吹高校 学校評価計画

	重点目標	評価指標と活動計画
1	主体的・積極的に学習に取り組む姿勢を育成できるように授業の工夫をする。	<p style="text-align: center;"><b>評価指標</b></p> <p>1  他の教員の授業を1・2学期、各2名以上の授業を見学する。 教員(2名以上)の授業見学率90%以上を目指す。</p> <p>2  ① 生徒への授業アンケートで「授業にまじめに、また積極的に取り組んでいますか」の質問に対し「大変当てはまる」「当てはまる」と回答する割合が全学年70%以上を目指す。</p> <p>② 教員への授業アンケートで「生徒を中心とした授業の展開ができたか」の質問に対し「そう思う」「だいたいそう思う」と回答する割合が75%以上を目指す。</p> <p style="text-align: center;"><b>活動計画</b></p> <p>1  1・2学期に各1週間すべての授業を公開し、他の教員の授業を参観し点検することにより、自らの授業力の向上やスキルアップを図る。また参観される側も、参観シートで指摘を受けることにより授業実践力の向上を図る。</p> <p>2  2学期末に生徒・教員へ授業についてのアンケートをとる。</p>
2	自らの将来を具体的に思い描き、主体的に学習することを通して、基礎学力の伸長と進路実現を図る。	<p style="text-align: center;"><b>評価指標</b></p> <p>1  基礎学力養成のため校内で漢字テスト及び英単語テストを実施し、年間平均85点以上の優秀者の割合を漢字テストでは各学年20%以上、英単語テストでは各学年10%以上を目指す。</p> <p>2  1年生で国語・数学の基礎教科に関して学び直しを行い、認定テストの最上級の合格率を90%以上とする。</p> <p>3  学力の定着を図るため家庭学習を促し、特に定期考査期間中、各学年において一人あたりの1日平均学習時間2時間以上を目指す。</p> <p style="text-align: center;"><b>活動計画</b></p> <p>1  実施日に向けて国語科・英語科を中心に事前対策を行い、各学年・クラスでも学習を奨励し、校内表彰に加えて学年表彰を設けることで漢字及び英単語の習得を督促する。</p> <p>2  授業および課外学習での学習時間を確保するとともに、定期考査の範囲に盛り込むことにより学習意欲の高揚と持続を図る。</p> <p>3  考査期間を含む1週間の家庭学習調査を実施し、生活スタイルの見直しや適切な学習内容について担任が助言する。</p>
3	<p>1  基本的生活習慣の確立を図るために、遅刻指導、頭髪・服装指導に重点を置く。また学校や社会のルールを守るとともに正しく判断し行動できる生徒を育成する。</p> <p>2  「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめ等の防止に関する基本的な考え方を統一し、未然防止に努める。</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価指標</b></p> <p>1  ① 毎月行う頭髪・服装指導の頭髪再指導者数が1カ月平均5名以下を目指す。</p> <p>② 1年間を通した1日平均の遅刻者数が5名以下を目指す。</p> <p>③ 校内巡視・校外巡視を行うことにより、問題行動の未然防止を図る。</p> <p>2  いじめ等の未然防止のためのホームルーム活動・学校行事等を年間10回以上実施する。</p> <p style="text-align: center;"><b>活動計画</b></p> <p>1  ① 毎月の頭髪・服装指導以外にも、随時気になる生徒を指導する。</p> <p>② 計画的、継続的に校内巡視・校外巡視を行うとともに、気になる場合には随時巡視を強化する。</p> <p>2  いじめ等の未然防止のための年間計画に沿った活動を実施する。</p>

重点目標		評価指標と活動計画
4	1 清掃活動を推進する。	<b>評価指標</b> 1 びかびかコンテストを年2回実施する。 2 ① 美化委員がポイ捨ての禁止や節電・節水について、アースデーの朝SHRで呼びかける。 ② 電気・水道の使用量がそれぞれ170,000kW(4月～12月), 3,000m <sup>3</sup> (4月～11月)を超えない。 3 ① 防災クラブの活動を年間10回以上実施する。そのうち地域の方とつながる活動を2回以上実施する。 ② 活動後は毎回、内容と感想を記録する。
	2 月1回アースデー(環境を考える日)を設け、ゴミの分別やポイ捨ての禁止、節電・節水を呼びかける。	
	3 防災に対する意識を高め、発災時に行動できる力と資質を養う。	<b>活動計画</b> 1 1・2学期に1回ずつ、びかびか週間を設け、各部門ごとに最も清掃ができていたクラス又は人物を表彰する。 2 ① 家庭や地域にも呼びかけ、美化委員とJRC部員が中心となりペットボトルキャップを回収する。 ② 学期ごとの電気・水道の使用状況をISOコーナーに掲示する。 3 活動を詳細に記録することで生徒の防災意識及び発災時に行動できる力の向上を図る。
5	1 生徒会活動や学校行事を通して、自主的・実践的な態度を育てる。	<b>評価指標</b> 1 ① 学校行事への参加生徒率90%以上を目指す。 ② 生徒会役員があいさつ運動を毎週月・金曜日に実施する。 2 ① 各部が校内外の場所を決定し、年間2回以上清掃活動を行う。 ② 部活動生集会を年間3回以上開催する。
	2 部活動のより一層の活性化を図る。	<b>活動計画</b> 1 ① 生徒会や各クラスの生徒が自主的・主体的に企画・運営できるよう適切な指導を行う。 ② 生徒会役員がリーダーとなって積極的にあいさつを行い、全校生徒があいさつを交わせる習慣を身につけさせる。 2 ① 部活動を中心に、校内外の清掃活動を行い、積極的に環境美化活動に取り組む。 ② 部活動生集会において、部での活動すべてが学校の活性化につながることを認識させ、学校及び部活動の発展に取り組む。
6	生徒の人権意識の高揚や人権感覚の育成を図り、人権問題の解決に向けて取り組む力を育む。	<b>評価指標</b> 1 12月に実施する人権問題意識調査において、校内での人権学習にクラスが「とても活発に取り組めた」「やや活発に取り組めた」と回答する割合が70%以上を目指す。 2 12月の調査において、人権問題解消に向けての意欲を持つと回答する割合が70%以上を目指す。 3 12月の調査において、校内での人権学習に「まじめに取り組んだ」「ややまじめに取り組んだ」と回答する割合が70%以上を目指す。 4 年3回発行する人権啓発新聞「Together」に保護者向けの啓発記事を掲載する。
		<b>活動計画</b> 1 月1回「人権の日」を設け、人権委員会を中心として、身近な人権問題を中心とした人権問題学習を実施する。 2 年2回(4月・12月)、人権問題意識調査を実施し、生徒の意識の変化を分析する。 3 ホームルーム活動での人権問題学習や人権に関するさまざまな校内行事において、生徒の関心や実情に合わせた内容を実施する。 4 人権啓発新聞「Together」を家庭で読んでもらえるように、人権委員やヒューマンライツ部を中心とした広報活動を行う。